廃棄予定公文書の歴史公文書等該当性に係る審議会からの意見聴取の方法について

現在、二次選別結果一覧および公文書館からの説明を踏まえ、必要に応じ、二次選別結果一覧から任意に選んだファイルや事項について、各委員から公文書館への御意見や御質問を提出いただいているが、改めて御意見等提出の方法について御審議いただきたい。

○案1

対象ファイル数が現在の三分の一程度となるように部局数を限定し、主担当・副担当の二名から御意見等をいただく。

○案2

現在、一つの部局のファイルにつき主担当・副担当の二名から御意見等をいただいているが、副担当をなくし、一部局につき一名の委員から御意見等をいただく。

○案3

二次選別において、職員が移管・廃棄の判断に悩んだものについて御意見等をいただく。

(参考)

滋賀県公文書等の管理に関する条例

第8条

- 2 実施機関は、前項の規定により保存期間が満了したファイル等を廃棄しようとするときは、あらかじめ、その旨を知事に報告しなければならない。
- 3 知事は、前項の規定による報告があったときは、速やかに、当該報告に係るファイル等にまとめられた現用公文書が歴史公文書等に該当するか否かについて、滋賀県公文書管理・情報公開・個人情報保護審議会(以下「審議会」という。)の意見を聴かなければならない。